



令和5年度 決算報告

9月の定例議会で、令和5年度の一般会計と2つの特別会計、2つの公営企業会計の決算が認定されました。その主な内容をお知らせします。

問い合わせ 総務課

物価高騰対策として 町独自の取り組みを実施

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行し、3年以上続いたコロナ禍からの大きな転換期となりました。一方で、依然として物価高騰が住民生活や事業者に多大な影響を与えている状況から、その対策として、国の方針に基づく生活支援を実施しました。また、町独自の取り組みとして、国の臨時交付金を活用するとともに、財政調整基金からの繰り入れを行い、必要な対策を講じました。

「ゆつたり いっしょにおかがき」 町の魅力を発信

岡垣町ブランド戦略で整理した町の魅力を町内外に発信するため、地下水のPR用ペットボトルや、ブランドブック、ポスターなどを作成し、ブランディングの強化を進めました。

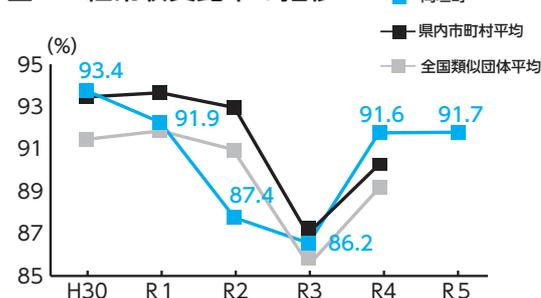
未来に続く岡垣町のために

これまでの子育て支援策と令和5年度からの新たな事業を取りまとめた「おかがき子育て応援パッケージ」など、目指すまちの将来像「自然と共生するしあわせ実感都市 岡垣」の実現に向けて取り組みを進めました。

決算の概要

一般会計決算額の実質収支は、収入と支出の差引額から令和6年度に繰り越す必要がある財源の39336万円を除き、5億4039万円となりました。

図1 経常収支比率の推移



経常収支比率 って何？

経常収支比率とは、財政状況の余力を示す数値のことです。人件費などの経常的に支出される経費と、町税などの経常的に収入される一般財源との比率で、数値が低いほど財政状況に余力があるとされています。





収入の状況

令和5年度の収入総額は133億1,788万円となり、前年度から3億2,239万円増加しました。

【自主財源】

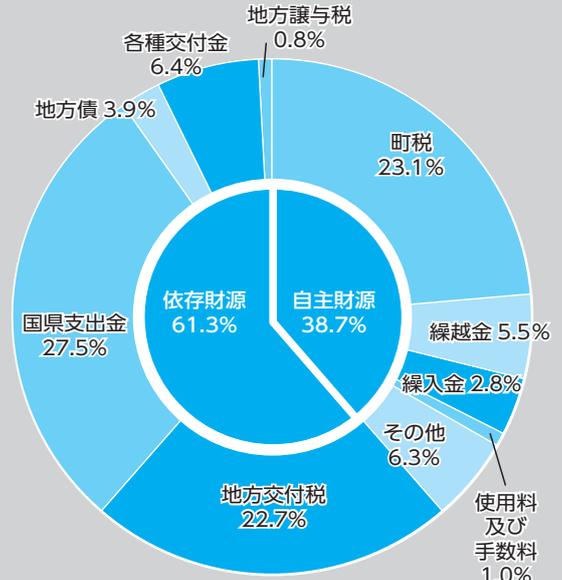
町民税や固定資産税などの町税が増加しました。一方、岡垣サンリーアイをはじめとする公共施設の使用料やふるさと納税による寄附金は減少しました。

【依存財源】

地方交付税や地方債が増加しました。一方、新型コロナウイルス感染症対策に係る交付金などが減少したことにより、国庫支出金が減少しました。

自主財源…町税など、町が自主的に収入できる財源のこと。

依存財源…国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりする町の収入。



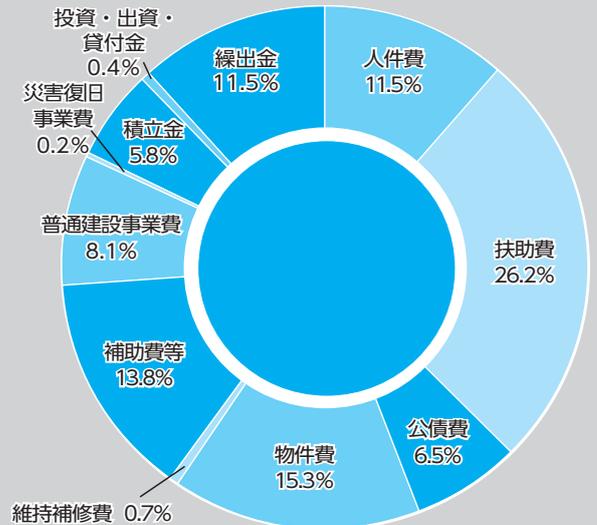
一般会計収入総額 133億1,788万円

支出の状況

令和5年度の支出総額は127億3,813万円となり、前年度から4億8,331万円増加しました。

前年度に比べ、物価高騰対応緊急支援給付金の給付などにより扶助費が大きく増加したほか、小中学校の大規模改修により普通建設事業費も増加しました。また、町債の償還金にあたる公債費も増加しました。

一方、水道使用料減額など令和4年度に実施した新型コロナウイルス感染症対策事業の終了により補助費が大きく減少しました。



一般会計支出総額 127億3,813万円

単年度収支とは？

実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額です。実質収支中には前年度以前の収支残があるため控除し、当該年度だけの収支を算出します。

実質単年度収支とは？

財政調整基金への積立金や取り崩しによる繰入金などを取り除いた単年度収支です。

表1 単年度収支の算出

	令和4年度	令和5年度
実質収支	6億5,448万円	5億4,039万円
単年度収支額	△1,552万円	△1億1,410万円
財政調整基金積立額	274万円	9,274万円
財政調整基金取崩額	—	8,474万円
実質単年度収支額	△1,278万円	△1億610万円

※数値の表示単位未満を四捨五入しているため、差引額などが一致しないことがあります。



令和5年度に実施した主な取り組みを紹介しします

「自然と共生するしあわせ実感都市

岡垣」の実現に向けて



自然を守り、活かし交流を生むまち

■三里松原と美しい海岸の保全事業——545万円

三里松原防風保安林保全対策協議会と連携して松葉かきを実施したほか、ラブアースクリーンアップや国・県に対する三里松原保全の要望活動を行いました。

■その他

- 荒廃森林整備事業 380万円
- 公園等管理事業 2,063万円

など



地域資源を活かし発展するまち

■野生動物緩衝林整備事業——1,575万円

野生動物とのすみ分けを図ることを目的に、不要木の伐採などの緩衝林の整備を実施しました。

■観光推進事業——2,016万円

観光協会が行うフルーツライドなどの体験プログラムの造成や観光商品の開発を支援したほか、スマホゲーム「北斗の拳 LEGENDS ReVIVE」とコラボレーションし、観光振興に向けた取り組みを行いました。

■その他

- 就農支援事業 385万円
- 農業用水路維持補修事業 1,257万円

など



人・つながりが育つまち

■認定こども園施設整備事業——1億 6,645万円

待機児童の解消に向け、保育定員の拡大を図るための認定こども園の施設整備に対し補助を行いました。

■岡垣歴史ギャラリー整備事業——1,724万円

町の文化財を保護し、町の歴史などを伝えるために岡垣歴史ギャラリーを岡垣サンリーアイに整備しました。

■小中学校施設整備事業——3億 1,549万円

学校での児童生徒の安全確保や快適な環境の整備のため、外壁改修や屋上防水、火災報知設備の更新などの工事を行いました。

■その他

- 子ども食堂運営支援事業 109万円
- 学校施設適正配置検討事業 95万円
- 岡垣サンリーアイ施設改修事業 9,835万円

など





誰もが元気で自分らしく暮らせるまち

■介護予防・日常生活支援総合事業——3,898万円

ケアランポリンやヨガなどの健康教室を実施したほか、介護予防サポーターの活動支援など、高齢者の社会参加の推進と生活支援を充実させる取り組みを行いました。

■その他

- 認知症施策推進事業 185万円
- 子ども医療事業 1億6,126万円

など



安全・快適に暮らせる持続可能なまち

■交通安全対策施設整備事業——4,135万円

住民の皆さんが安全に通行できるよう、通学路の歩道拡幅工事や緊急対策工事を行いました。

■海老津駅前広場管理事業——2,693万円

町の玄関口であるJR海老津駅の北側トイレ改修など、駅前広場の環境整備に取り組みました。



■総合防災マップの更新・配布——591万円

避難するときに必要な情報を分かりやすく整理し、新たな洪水浸水想定区域にも対応するために、総合防災マップを更新し、配布しました。

■その他

- コミュニティバス・乗合タクシーの運行 8,354万円
- 都市計画見直し 436万円

など



計画推進の基盤

■PR戦略推進事業——1,129万円

戦略的な情報発信に向けたブランディングの強化、地下水のPR用ペットボトルの作成など、定住人口などを増加させるための取り組みを行いました。

■その他

- まつり岡垣補助金 570万円
- コミュニティ活動支援 765万円

など





ライフステージに応じて子育てを支援!

おかがき子育て応援パッケージの主な事業

令和5年度に実施した主な事業は次のとおりです。

New! ■おかがき出産・子育て応援事業 —1,928万円

妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、身近で相談ができる体制を整えるとともに、妊娠の届け出後と赤ちゃん訪問後に、それぞれ5万円を給付しました。

New! ■新生児聴覚検査費用助成事業 —40万円

生まれつき耳が聞こえていない可能性がある赤ちゃんを早期に発見し、円滑に療育につなげるため、新生児聴覚検査費用の一部を助成しました。

New! ■おかがき1st. バースデーギフト事業 —693万円

子どもの誕生と1歳を迎えたことをお祝いするとともに、子育てに伴う経済的負担の軽減を図るため、子ども1人当たり3万円(第3子以降は5万円)を給付しました。

New! ■こども見守りタグ導入支援事業 —20万円

ICTを活用した子どもの安全対策を促進するため、保育施設に対し、こどもの見守りタグ(GPS)などの導入費用を助成しました。

■小中学校 ICT 化推進事業 —1,763万円

児童生徒1人につき1台タブレット端末を貸し出し、通信ネットワークや電子黒板を整備するなど、学校のデジタル環境を整え、ICT教育を推進しました。

: 妊娠期 : 乳児期 : 幼児期 : 学童期以降

公営企業会計

■水道事業

	収益的収支	資本的収支
収入	5億 6,899万円	1億 6,575万円
支出	5億 1,508万円	4億 626万円

水道水を安心して使ってもらうための会計です。主な収入は水道料金で、主な支出は水道の施設工事費や浄水場・配水池の維持管理費です。

■下水道事業

	収益的収支	資本的収支
収入	8億 5,697万円	2億 2,553万円
支出	8億 2,008万円	5億 305万円

家庭から出る汚水を処理し、生活環境を清潔に保つための下水道の整備や維持管理を行うための会計です。主な収入は下水道使用料や受益者負担金、一般会計からの繰入金で、主な支出は下水道の施設工事費や浄化センターの維持管理費です。

※収支金額は税抜きの金額。資本的収支の不足額は、公営企業に留保している資金で補っています。

2つの公営企業会計と2つの特別会計の令和5年度決算額をお知らせします。

令和5年度
公営企業会計・特別会計



基金と町債

基金残高の推移は図2のとおりです。令和5年度は、基金から3億7,566万円取り崩しましたが、積立額が7億3,923万円となったため、基金残高は前年度末と比較して3億6,356万円増加し、4年連続で増加しました。

町債残高の推移は図3のとおりです。令和5年度の町債借入額は、前年度末と比較して2億158万円増加し、5億2,673万円となりましたが、町債残高は2億8,965万円減少しました。

図2 基金残高の推移

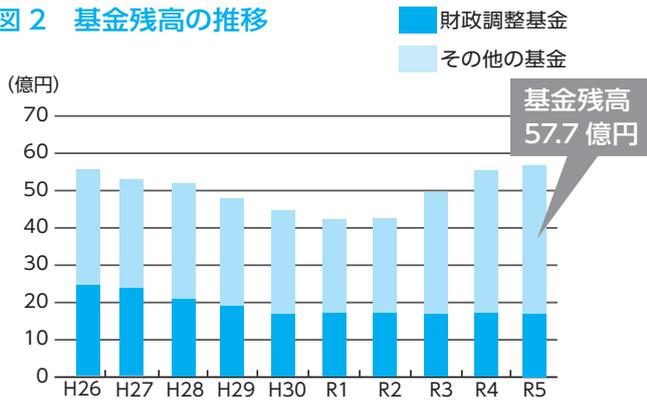
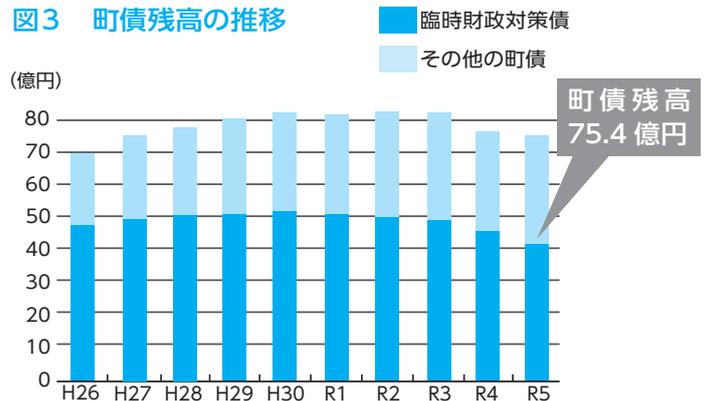


図3 町債残高の推移



今後に向けて

長引く物価高騰など先行きが不透明な社会情勢により、町の財政に影響が及ぶ可能性があります。このため、引き続き国の動向を注意深く見ていながら、町の財政が将来にわたって持続可能であるようしっかりと対応していく必要があります。また、社会保障費や公共施設の老朽化に伴う維持管理・更新経費などの増加に加えて、学校施設の適正配置による施設整備への対応などの大きな支出も必要です。

健全な財政運営はまちづくりの基盤です。40年先、50年先を見据えたまちづくりと、今暮らしている岡垣町の住民一人一人のウェルビーイングを高めるまちづくりを同時に進め、「持続可能なまちづくり」の実現を目指すとともに、長期的な視点を持ちながら、効率的で健全な財政運営を行います。



特別会計

国民健康保険事業

収入	34億5,605万円
支出	32億2,763万円

国民健康保険加入者の保険給付や保健事業を行う会計です。主な収入は国民健康保険税や県からの補助金、一般会計からの繰入金などです。主な支出は保険給付費や国民健康保険事業費納付金などです。

後期高齢者医療事業

収入	6億4,352万円
支出	6億1,627万円

後期高齢者医療制度の保険料の徴収などを行う会計です。主な収入は後期高齢者医療保険料と一般会計からの繰入金で、主な支出は後期高齢者医療広域連合への納付金です。

